



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社TVE 上場取引所 東
コード番号 6466 URL <https://www.toavalve.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 奥井 一史
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦 TEL 06-6416-1184
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	7,405	△12.5	530	△53.0	639	△47.7	562	△29.8
2024年9月期第3四半期	8,466	26.6	1,129	296.8	1,222	268.0	801	272.0

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 772百万円 (△38.6%) 2024年9月期第3四半期 1,257百万円 (110.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	239.91	—
2024年9月期第3四半期	342.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	15,197	11,670	76.8
2024年9月期	15,090	11,029	73.1

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 11,670百万円 2024年9月期 11,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2025年9月期	—	20.00	—		
2025年9月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△10.9	600	△41.6	650	△42.7	600	△16.9	255.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年8月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ― 社 (社名) ―、除外 ― 社 (社名) ―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年9月期3Q	2,461,600株	2024年9月期	2,461,600株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	115,565株	2024年9月期	119,795株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年9月期3Q	2,344,348株	2024年9月期3Q	2,340,411株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
受注の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年10月1日から2025年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善などを背景として景気は緩やかに回復いたしました。一方、海外におきましては、アメリカの通商政策の不確実性、ウクライナや中東を巡る地政学的な要因による資源価格の変動や中国経済の先行き懸念からくる金融市場の不安定化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、原子力・火力発電所用バルブの製造・メンテナンスを主としたバルブ事業を中核に鋳鋼製品の製造事業や、原子力発電所（以下「原発」）における設備の保守や電気設備工事などを展開しております。

バルブ事業の中核である原発向けビジネスは、東日本大震災の津波による東京電力福島第一原発事故以降厳しい状況にありましたが、地球温暖化問題から世界規模でグリーン・トランスフォーメーション実現に向けた取り組みが進み、また、デジタル・トランスフォーメーションの進展等に伴う電力需要の増加が見込まれる中、国内では2025年2月に第7次エネルギー基本計画が閣議決定され、その計画の中では2040年度のエネルギー需給見通しにおける電源構成において原子力は2割程度とされ、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していく旨が明記されました。次世代革新炉の設置等については廃炉を決定した原発を有する事業者の原発サイト内での建て替えを対象とし、バックエンド問題の進展も考慮し具体化を進めていくことが記載されております。そのような中、2025年7月に関西電力が美浜原発において1号機の後継機設置検討のための現地調査を再開することを公表いたしました。国内においては今後も原発のリブレースに向けた検討の取り組みが進むものと想定されます。

このような環境下で、当社グループでは中期経営計画2023に基づく事業戦略推進の一環として、2024年11月のプレスリリースで開示いたしましたとおり、若狭地区におけるバルブ事業の継続と更なる発展、原発の廃止措置から生ずるクリアランス金属のリサイクルを主とするリファインメタル事業の推進などを目的とした製造拠点を新設するため2024年12月に福井県おおい町の土地を取得し、安全弁事業で使用する第1工場の建設のためプロジェクトチームを組成し着工に向けた取り組みを進めております。リファインメタル事業で使用する第2工場の建設につきましても引き続き検討を行います。また、2025年3月のプレスリリースで開示いたしましたとおり、BCP対策並びに工場機能の充実及び研究開発機能の強化を目的として、2025年6月に神戸市よりポートアイランドの土地を取得いたしました。当社グループとしましては、今後も中長期での持続的成長を図り、企業価値の一層の向上を図ってまいります。

このような中、当第3四半期連結累計期間におきましては、主要な事業であるバルブ事業においては、関西電力高浜原発、大飯原発及び美浜原発、四国電力伊方原発や九州電力川内原発において定期検査工事が完了し売上が計上されたほか、海外顧客向けに製品の売上也計上され、製鋼事業においては主要顧客への売上が順調に推移しましたが、バルブ事業の工事に係る売上が好調だった前年同期には及ばず、全体の売上高は74億5百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

採算面では、前年同期に比しバルブ事業で大幅な減収となったこと、受注損失引当金の繰入が生じたことなどから、営業利益は5億30百万円（前年同期比53.0%減）、経常利益は6億39百万円（同47.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億62百万円（同29.8%減）となりました。

報告セグメント別では、バルブ事業は、前述の定期検査工事や海外顧客向けの製品案件が売上計上されましたが、前年同期の売上には及ばず、売上高は48億54百万円（前年同期比19.2%減）となり、セグメント利益は、大幅な減収に伴う利益の減少や受注損失引当金の繰入などから、9億11百万円（同45.4%減）となり、前年同期に比し減益となりました。

製鋼事業は、前年同期に比し、主要な顧客への売上が好調に推移したほか、水処理設備に関する製品の売上が計上された結果、売上高は10億97百万円（前年同期比14.2%増）となり、セグメント利益は、電力の単価の上昇等があったものの、前年同期に比し増収となったことや好調な受注に支えられたことにより、28百万円の赤字（前年同期は1億35百万円の赤字）となり、赤字幅は大幅に縮小いたしました。

電気設備関連事業は、公共施設における電気工事や発電所における設備の保守点検作業などに係る売上が計上されたものの、前年同期の売上には僅かに及ばず、売上高は13億48百万円（前年同期比2.9%減）となり、セグメント利益は、遠方での請負工事の減少に伴う原価の減少などあったものの、受注損失引当金の戻入額の減少などから2億62百万円（同13.6%減）となり、前年同期に比し減益となりました。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ（新製弁）	1,107	933	△15.7
	バルブ用取替補修部品	888	856	△3.5
	原子力発電所定期検査工事	2,047	1,510	△26.2
	その他メンテナンス等の役務提供	1,964	1,553	△20.9
小計		6,007	4,854	△19.2
製鋼事業	鋳鋼製品	961	1,097	14.2
電気設備関連事業	電気設備関連工事	1,388	1,348	△2.9
その他	その他	144	130	△9.4
消去又は全社		△34	△26	—
合計		8,466	7,405	△12.5

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産残高は151億97百万円となり、前連結会計年度末に比して1億7百万円増加しました。これは主に現金及び預金が42億31百万円減少しましたが、土地が31億18百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3億88百万円増加したことによるものであります。

負債残高は35億27百万円となり、前連結会計年度末に比して5億34百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が1億73百万円増加しましたが、未払法人税等が3億83百万円、賞与引当金が3億2百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は116億70百万円となり、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比して6億41百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示し修正いたしましたのでそちらをご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,881,698	1,650,193
受取手形、売掛金及び契約資産	2,597,301	2,985,939
商品及び製品	66,139	98,218
仕掛品	1,267,812	1,530,552
原材料及び貯蔵品	471,372	545,464
未収還付法人税等	686	56,567
その他	137,763	187,833
貸倒引当金	△8,259	△8,411
流動資産合計	10,414,513	7,046,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,012,185	980,404
機械装置及び運搬具（純額）	605,175	548,363
土地	466,937	3,585,461
その他（純額）	139,114	504,688
有形固定資産合計	2,223,412	5,618,917
無形固定資産		
のれん	48,766	43,721
顧客関連資産	93,293	79,965
その他	192,093	165,070
無形固定資産合計	334,152	288,757
投資その他の資産		
投資有価証券	1,859,965	2,018,484
繰延税金資産	33,186	11,499
その他	225,026	213,553
投資その他の資産合計	2,118,178	2,243,537
固定資産合計	4,675,744	8,151,212
資産合計	15,090,257	15,197,569
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	692,787	726,529
短期借入金	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	109,996	107,517
未払法人税等	394,594	10,998
賞与引当金	447,917	145,422
役員賞与引当金	65,377	—
受注損失引当金	327,976	429,628
その他	766,584	564,358
流動負債合計	2,875,233	2,054,453
固定負債		
長期借入金	130,018	50,000
繰延税金負債	227,116	400,727
P C B 処理引当金	2,750	3,070
退職給付に係る負債	778,957	697,114
その他	47,034	321,671
固定負債合計	1,185,876	1,472,582
負債合計	4,061,109	3,527,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	1,666,591	1,669,131
利益剰余金	6,742,626	7,164,484
自己株式	△195,681	△188,646
株主資本合計	9,953,096	10,384,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,085,876	1,210,384
為替換算調整勘定	91,260	94,937
退職給付に係る調整累計額	△101,085	△19,319
その他の包括利益累計額合計	1,076,051	1,286,003
純資産合計	11,029,147	11,670,533
負債純資産合計	15,090,257	15,197,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,466,006	7,405,592
売上原価	5,846,125	5,488,097
売上総利益	2,619,880	1,917,494
販売費及び一般管理費	1,490,653	1,387,084
営業利益	1,129,227	530,410
営業外収益		
受取利息	399	1,281
受取配当金	41,177	56,526
補助金収入	47,516	43,394
雑収入	19,090	17,832
営業外収益合計	108,183	119,034
営業外費用		
支払利息	3,547	5,072
為替差損	9,560	3,240
雑損失	1,440	1,881
営業外費用合計	14,548	10,194
経常利益	1,222,862	639,249
特別利益		
固定資産売却益	277	1,265
投資有価証券売却益	—	203,756
特別利益合計	277	205,021
特別損失		
固定資産処分損	3,426	7,889
減損損失	3,667	—
特別損失合計	7,094	7,889
税金等調整前四半期純利益	1,216,045	836,382
法人税、住民税及び事業税	329,297	155,969
法人税等調整額	85,442	117,960
法人税等合計	414,740	273,929
四半期純利益	801,305	562,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	801,305	562,452

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	801,305	562,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	422,264	124,508
為替換算調整勘定	24,264	3,677
退職給付に係る調整額	9,692	81,766
その他の包括利益合計	456,221	209,951
四半期包括利益	1,257,526	772,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,257,526	772,404
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	バルブ 事業	製鋼事業	電気設備 関連事業	計				
売上高								
バルブ(新製弁)	1,107,237	—	—	1,107,237	—	1,107,237	—	1,107,237
バルブ用取替 補修部品	888,055	—	—	888,055	—	888,055	—	888,055
原子力発電所 定期検査工事	2,047,261	—	—	2,047,261	—	2,047,261	—	2,047,261
その他メンテナンス 等の役務提供	1,950,180	—	—	1,950,180	—	1,950,180	—	1,950,180
鋳鋼製品	—	958,285	—	958,285	—	958,285	—	958,285
電気設備関連工事	—	—	1,388,444	1,388,444	—	1,388,444	—	1,388,444
その他	—	—	—	—	126,542	126,542	—	126,542
顧客との契約から生 じる収益	5,992,734	958,285	1,388,444	8,339,464	126,542	8,466,006	—	8,466,006
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,992,734	958,285	1,388,444	8,339,464	126,542	8,466,006	—	8,466,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,336	3,000	—	17,336	17,490	34,826	△34,826	—
計	6,007,071	961,285	1,388,444	8,356,801	144,032	8,500,833	△34,826	8,466,006
セグメント利益又は損失 (△)	1,668,791	△135,506	303,855	1,837,141	△32,655	1,804,485	△675,258	1,129,227

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リファインメタル事業や地域復興事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△675,258千円には、セグメント間取引消去2,775千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△678,033千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年10月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	バルブ 事業	製鋼事業	電気設備 関連事業	計				
売上高								
バルブ(新製弁)	929,489	—	—	929,489	—	929,489	—	929,489
バルブ用取替	856,574	—	—	856,574	—	856,574	—	856,574
補修部品								
原子力発電所	1,510,623	—	—	1,510,623	—	1,510,623	—	1,510,623
定期検査工事								
その他メンテナンス	1,545,099	—	—	1,545,099	—	1,545,099	—	1,545,099
等の役務提供								
鋳鋼製品	—	1,096,308	—	1,096,308	—	1,096,308	—	1,096,308
電気設備関連工事	—	—	1,348,784	1,348,784	—	1,348,784	—	1,348,784
その他	—	—	—	—	118,711	118,711	—	118,711
顧客との契約から生 じる収益	4,841,787	1,096,308	1,348,784	7,286,880	118,711	7,405,592	—	7,405,592
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,841,787	1,096,308	1,348,784	7,286,880	118,711	7,405,592	—	7,405,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,864	1,450	—	14,314	11,720	26,034	△26,034	—
計	4,854,651	1,097,758	1,348,784	7,301,195	130,431	7,431,627	△26,034	7,405,592
セグメント利益又は損失 (△)	911,785	△28,267	262,518	1,146,036	4,531	1,150,567	△620,157	530,410

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リファインメタル事業や地域復興事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△620,157千円には、セグメント間取引消去2,894千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△623,051千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び顧客関連資産償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	268,837千円	261,933千円
のれんの償却額	5,044	5,044
顧客関連資産償却費	13,327	13,327

3. その他

受注の状況

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前期末比 (%)
パルプ事業	7,543,877	38.1	5,426,349	98.3
製鋼事業	932,801	△2.9	791,490	△17.2
電気設備関連事業	1,834,056	29.0	824,160	143.2
その他	109,621	△31.6	37,000	△36.0
消去又は全社	△26,034	—	—	—
合計	10,394,322	30.4	7,078,999	73.1

(注) 金額は販売価格によっております。